

令和6年度

地域とともにある学校づくり

保谷第一小学校 6年生

コミュニティ・スクールの充実

西東京ふるさと探究学習

単元名：
(活動名)

「保一6年株式会社」

ねらい：

模擬会社体験を通して、人に喜んでもらうことの喜びを知り、自己と将来とのつながりの見通しをもつこと。

【4月～】

＜課題の設定＞

仕事のイメージ、
将来したい仕事
について考えま
した。

6年生として、入学式準備や1年生サポート、縦割り班の中心となっていく中で、「どんな人になりたいか。どんなヒーローになりたいか。」を学年集会で話し合いました。また、自分の将来像をイメージし、2学期の学習発表に向けて「ウェブマッピング」をしていくことにしました。



図工の時間、地域の方が親身にサポートしてくださっていました。

【5月～6月】
＜情報収集＞

仕事（サービス）の種類を考え、どんな仕事ができるか考えました。



地域の方々のつながりの大切さ、人を喜ばせる原点を学びました。

自分たちが通う学校や地域のために、どのような活動ができるか、「仕事（サービス）」という形で貢献しようと、小グループに分かれて「会社」を発足しました。

【6月～】

＜整理・分析＞

会社ごとに仕事（サービス）の内容を考え、インタビューやアンケートを実施しました。

いつ・どこで・だれを対象としてサービスを提供するか、インタビューやアンケート内容を整理・分析し、具体的な事業内容を考え、計画しました。



【7月～】

＜まとめ・表現＞

会社ごとに事業を進めました。
学校をもっときれいにしたい、他学年と交流したい、学校で笑顔になってほしい、学習の手助けがしたい、給食メニューを考えたい、自分たちが考え用意した企画を実施し、振り返りをしました。
その中で、スケジュール調整や準備の大変さ、相手のニーズに合わせる難しさを経験することができました。



まとめ

会社活動を通して、自分たちがどんな仕事（サービス）ができるかを考えることで、自分ができることの可能性や将来関わっていききたい仕事へのイメージをもつきっかけを作ることができました。ウェブマッピングも引き続き活用し、2学期は「自分自身」に目を向けながら、地域の方々や講師の方をお呼びし、具体的な将来像や可能性、キャリアについてイメージを膨らませていこうと考えています。